

新聞記事に見る
土佐^土女子



2021.7.13 ~ 2022.6.27

【目次】

2～3	……………	卓球
4	……………	弓道
5～7	……………	バドミントン
8～10	……………	水泳部
11～13	……………	その他部活動と課外活動（運動）
14	……………	文化部とその他課外活動
15～17	……………	新聞感想文コンクール
18	……………	学校行事
19	……………	卒業生も活躍しています
20	……………	部活動一覧

卓球
 (普通寺市民体育館)
 ▼男子団体予選リーグW組
 ①日吉(愛) 2勝②津田(徳)
 ①1勝1敗③付属2敗
 X組 ①明德2勝②西条東(愛)
 ①1勝1敗③付属坂出(香)
 ②2敗▼Y組 ①港南(愛) 2勝②海陽(徳) 1勝

1敗③国分寺(香) 2敗▼Z組
 ①香東(香) 2勝②城西(徳)
 ①1勝1敗③一宮2敗
 ※各組2位までが決勝トナメント進出

1勝③北島(徳) 2勝②日吉(愛) 1勝1敗③桜町(香) 2敗▼X組 ①山川(徳) 2勝②高瀬(香) 1勝1敗③西土佐2敗▼Y組 ①土佐女2勝②城東(徳) 1勝1敗③港南(愛) 2敗▼Z組 ①明德2勝②西条東(愛) 1勝1敗③豊浜(香) 2敗
 ※各組2位までが決勝トナメント進出

明德男女、土佐女準決へ

1敗③国分寺(香) 2敗▼Z組
 ①香東(香) 2勝②城西(徳)
 ①1勝1敗③一宮2敗
 ※各組2位までが決勝トナメント進出

2021年(令和3年)8月5日

橋本 3	山本 3	石横川田 2	八木 0	横田 3	土佐女3(単3) 複0 1 1
1191711	1112118	81111911	879	11511	0 1 1
211156	610611	11613117	11111	6136	1 1 1
1児玉	1佐合	3児佐玉藤	3佐藤	0石川	2開志国(新潟)



青井 3	白青山井 3	藤沢 1	白山 3	熱徳義 3	横大井藤 3	大藤 3	菅沢 3	寺四天王(大阪) 3
11111211	1171111	79116	11111	複(単2) 1 0 1	111111	111111	111111	複(単2) 1 0 0
48145	61199	1111911	692	1 0 1	886	323	754	1 0 0
1西脇	1岡遠井山	3遠山	0若林	1園滋賀(滋賀)	0石横川田	0山本	0横田	0土佐女

(谷川剛章)

2021年(令和3年)8月14日

卓球
 (普通寺市民体育館)
 ▼男子団体準決勝
 港南 3-2 西条東(愛)
 明德 3-0 日吉(愛)
 ▼代表決定戦
 西条東 3-2 日吉
 明德 3-0 港南
 明徳は2年ぶり24度目の優勝

引地 3	高藤 3	引地 3	高藤 3
1171211	322	111103	322
911103	武瀬	1齋藤	武瀬
1齋藤	智川		智川

▼女子団体準決勝
 土佐女 3-1 日吉(愛)
 明德 3-0 北島(徳)
 ▼代表決定戦
 日吉 3-2 北島
 明德は2年ぶり16度目の優勝

水野 3	水野 3	渡辺 3	水野 3
1191211	711108	311	11108
1渡辺	1渡辺	1小橋	1渡辺
1渡辺	1渡辺	1小橋	1渡辺

2021年(令和3年)8月6日

明德男女V 土佐女も全中へ

明德男女16強 土佐女は敗退

卓球

卓球

土佐女に自信と課題
 四国ブロック選考会で出場枠を勝ち取り、インターハイに挑んだ土佐女は、初戦に勝利したものの、四天王寺(大阪)との2回戦では1ゲームも奪つことができず完敗。浜田監督も、選手たちも「全てにおいて力負けです」とうなだれた。24度の優勝を誇る女王はやはり別格だった。サーブもレシーブも、その回転が横が斜めかの見極めが難しい。ドライブは強烈な縦回転でネットぎりぎりを超えてきた。こつちの読みは当たらないし、ボールもこれまで経験したことのない質。エースで主将の横田は顔をしかめながら振り返った。

それでも1回戦の開志国際(新潟)戦を3-2で制したことは「チームの糧になる」と浜田監督。特に2-2の勝負を決する場面。最後に登場した第4単の橋本が、勝つたことは大きかった。得意のバックレシーブでリズムをつくり、長短のサーブを使い分け、相手のミスをつつ。2年生が堂々とプレーした。

10年ぶりのインターハイで、勝利と敗戦を経験した土佐女。「自信と課題を感じた大会でした。今日の四天王寺のボールをイメージしながら練習したい」。新チームを引っ張るであろう橋本が力を込めて言った。

明德4年連続男女V 土佐女は2位で全国へ

卓球 全国高校選抜四国予選

卓球の全国高校選抜大会四国予選は6日、愛媛県西条市総合体育館で行われ、男女とも明德義塾が優勝した。男子は7年連続36度目、女子は4年連続15度目。土佐女が2位に入り、明德男女とともに全国大会（3月18～21日、栃木県）への出場権を獲得した。

各県代表2校ずつが2組に分かれて予選リーグを行い、各組1位同士が決勝を戦った。

男子の明德は予選B組を3戦全勝で1位通過。松山商との決勝は第1単の藤元、第2単の梅村、複の藤元・横部がそれぞれストレート勝ちで3-0の勝利を決めた。予選A組の小津は1勝2敗の3位だった。

女子は明德が予選A組、土佐女がB組をそれぞれ3戦全勝の1位で勝ち上がった。決勝は明德が第1単の白山、第2単の上沢依、複の青井・白山がそれぞれ3-0で勝利。無失点で土佐女を下した。

【順位】①松山商3勝②辰誠2勝1敗③小津1勝2敗④徳島商3敗	▽同B組 明德3-0城南	▽順位決定リーグ ①香川3勝②辰誠2勝1敗③城南1勝2敗④小津3敗	※予選リーグの相互対戦成績を含む。辰誠が全国へ
▽同B組 明德3-0城南	①松山北②香川西③明德3-0松山北④松山北	▽順位決定リーグ ①香川3勝②辰誠2勝1敗③城南1勝2敗④小津3敗	※予選リーグの相互対戦成績を含む。辰誠が全国へ
【順位】①明德3勝②香川2勝1敗③城南1勝2敗④松山北3敗	※各組1位が決勝進出、全国へ。2、3位が順位決定リーグに進出	▽順位決定リーグ ①辰誠3勝②済美2勝1敗③香川西1勝2敗④宇和島東3敗	※予選リーグの相互対戦成績を含む。辰誠が全国へ
【順位】①明德3勝②済美2勝1敗③香川西1勝2敗④城南3敗	▽同B組 辰誠（不戦勝）	【順位】①土佐女3勝②辰誠2勝1敗③宇和島東1勝2敗④徳島商3敗	※各組1位が決勝進出、全国へ。2、3位が順位決定リーグに進出
▽同B組 辰誠（不戦勝）	徳島商 徳島商 土佐女 土佐女	【順位】①土佐女3勝②辰誠2勝1敗③宇和島東1勝2敗④徳島商3敗	※各組1位が決勝進出、全国へ。2、3位が順位決定リーグに進出
徳島商 徳島商 土佐女 土佐女	宇和島東 宇和島東	【順位】①土佐女3勝②辰誠2勝1敗③宇和島東1勝2敗④徳島商3敗	※各組1位が決勝進出、全国へ。2、3位が順位決定リーグに進出
宇和島東 宇和島東	徳島商 徳島商	【順位】①土佐女3勝②辰誠2勝1敗③宇和島東1勝2敗④徳島商3敗	※各組1位が決勝進出、全国へ。2、3位が順位決定リーグに進出
徳島商 徳島商	徳島商 徳島商	【順位】①土佐女3勝②辰誠2勝1敗③宇和島東1勝2敗④徳島商3敗	※各組1位が決勝進出、全国へ。2、3位が順位決定リーグに進出
徳島商 徳島商	徳島商 徳島商	【順位】①土佐女3勝②辰誠2勝1敗③宇和島東1勝2敗④徳島商3敗	※各組1位が決勝進出、全国へ。2、3位が順位決定リーグに進出
徳島商 徳島商	徳島商 徳島商	【順位】①土佐女3勝②辰誠2勝1敗③宇和島東1勝2敗④徳島商3敗	※各組1位が決勝進出、全国へ。2、3位が順位決定リーグに進出

2022年(令和4年)2月7日

中学校地区総合体育大会

卓球

▽男子団体準決勝 付属3-0高知	▽土佐3-2城西	▽決勝	付属 3-1 土佐
筒井 3-1 土佐	藤田 3-0 坂本	高野 1-3 小八木	奥村 3-0 松井
奥村 3-0 松井	的場 3-0 松井	芸、一宮も県体出場	▽女子団体準決勝 土佐女3-0一宮
土佐女 3-0 付属	石川実 3-0 山崎	西岡 3-0 三宅	西岡 3-0 栗竹
八木 3-0 栗竹	※西部、学芸、旭、城北も県体出場		

2022年(令和4年)6月19日

中学校地区総合体育大会

卓球

▽男子シングルス準決勝 濱田(付属) 3-0 清遠(潮江)	▽筒井(付属) 3-0 的場(付属)	▽決勝	濱田 3-0 筒井
濱田 3-0 筒井	石川実(土佐女) 3-0 西岡琉(土佐女)	松本結 3-2 西岡 1-1 石川実	
石川実(土佐女) 3-0 西岡琉(土佐女)	松本結 3-2 西岡 1-1 石川実		

2022年(令和4年)6月20日

大森(高知)第十(土佐)準決勝で落選

弓道

(新潟県立武道館特設弓道場)
 ▼男子個人予選(4射3中) 大森陽平(高知) 3中
 ||準決勝進出、半田匠(小津) 2中||落選
 ▼準決勝(4射3中) 大森陽平 2中||落選
 ▼決勝(射詰め) ①柴田幸次郎(岐阜・中京) ②森岡(岡山・津山商) ③永吉(鹿児島・加治木工)
 ▼女子個人予選(4射3中) 第十一(土佐) 4中||準決勝進出、隅田小遥(土佐塾) 2中||落選
 ▼準決勝(4射3中) 第十一(土佐) 3中||落選
 ▼決勝(射詰め) ①藤本友香(栃木・足利大付) ②尾島(富山・富山第一) ③石井(長野・松本県ケ丘)

2021年(令和3年)7月30日

土佐15年ぶり男子制覇

土佐女は2年連続

弓道 県高校春季

土佐9-3西▼高知9-7東
 工▼高岡15-6春野

弓道の県高校春季大会

最終日は17日、県弓道場で男女の団体戦を行い、男子は土佐が15年ぶりの優勝。女子は土佐女が2年連続で制した。

土佐は予選を25中の2位で通過。決勝トーナメントは1回戦で西を9-1で下し、高岡との決勝は12-12から競射2回目で決着した。土佐女は予選では22中の2位。決勝トーナメント1回戦は南に9-3、準決勝は土佐塾に11-9で勝ち、決勝は土佐を11-8で破った。

高 知 新 聞

▼男子団体予選(40射)
 ①高岡30中②土佐25中③土佐塾 20中④高知18中⑤山田 16中⑥春野、高知商15中⑦安芸、小津、丸の内14中⑧中村13中⑨国際12中⑩学芸 11中⑪岡豊10中⑫高知工、東 9中⑬追手前5中
 ※上位8校が決勝トーナメント進出。8位の2校は競射により春野が進出
 ▼決勝トーナメント(20射)
 1回戦 土佐塾12-5山田▼

▼女子団体予選(40射)
 ①土佐23中②土佐女22中③土佐塾21中④学芸17中⑤小津13中⑥山田、南、中村、西12中⑦春野、安芸11中⑧岡豊10中⑨丸の内9中⑩追手前7中⑪高知工6中⑫国際5中⑬高知商4中
 ※上位8校が決勝トーナメント進出。6位の4校は競射により山田、南、西が進出
 ▼決勝トーナメント(20射)
 1回戦 土佐塾8-5西▼土佐女9-3南▼小津8-6学芸▼土佐9-8山田

2022年(令和4年)4月18日

土佐女が3位

弓道 (高知県弓道場)

▼男子団体予選(40射)
 ①今治132中②高松東27中③つるぎ、東予26中④高岡25中⑤土佐23中⑥松山東、新田21中⑦高松一20中⑧中村、丸亀城西19中⑨三本松、鳴門渦潮18中⑩城北17中⑪高知16中⑫城ノ内12中
 ※上位8校が決勝トーナメント進出
 ▼決勝トーナメント1回戦(20射) 今治12-11松山東▼東予16-13高岡▼つるぎ13-10土佐▼高松東16-10新田

▼準決勝
 東予15-12今治工
 高松東 12-9つるぎ
 ▼決勝
 高松東 15-14東予
 (高松東は初優勝)
 ▼女子団体予選(40射)
 ①丸亀城西29中②西条25中③高松商 土佐24中④土佐塾、土佐女23中⑤カタリナ、徳島市立22中⑥松山東、小松島西21中⑦阿波19中⑧坂出18中⑨高松南15中⑩宇和島南、小津14中⑪城南12中
 ※上位8校が決勝トーナメント進出
 ▼決勝トーナメント1回戦(20射) 丸亀城西12-12聖カタリナ(競射4-3)▼高松商12-9土佐塾▼土佐女13-11土佐▼西条16-10徳島市立

高 知 新 聞

丸亀城西 15-14 高松商
 西 条 15-12 土佐女
 川 野 寺 田
 本 田 白

丸亀城西 19-11 西 条
 (丸亀城西は2年連続3度目の優勝)
 ||競技終了
 大前を務めた2年の広瀬は「出場校は(20射)10中を超えが当たり前。レベルが違った」と、高校では自身初だった県外勢との公式戦出場が刺激になった様子。いい経験になった。新チームでは安定した射ができるよう練習したい」と目を輝かせた。(竹内竜一)



県勢男女で最上位の3位になった土佐女(高知県弓道場)

2022年(令和4年)6月20日



【女子団体決勝 土佐女・春野】優勝した土佐女の第3種、中島(左)と川窪のペア(春野体育館)森本敦士撮影

土佐男子12年ぶりV 土佐女は2年ぶり

県中学総体

第1日

県中学総合体育大会(県中学総体)が17日に開幕し、春野体育館でバドミントンの男女団体戦を行った。男子は土佐が12年ぶり、女子は土佐女が2年ぶりの優勝を果たした。18日はバドミントンの個人戦を実施する。21日からは競技が本格的に始まり、サッカー、バレーボール、軟式野球の3競技を東部球場などで行う。

バドミントン

(春野体育館)
▽男子団体1回戦 一宮2-1南海▼春野2-1高知
▽2回戦 宿毛2-0鶴岡▼愛宕2-0県

▽女子団体1回戦 一宮2-1城西▼土佐2-0土佐山
▽2回戦 宿毛2-0一宮

(土佐女は2年ぶり26度目の優勝)

安芸▼本川2-1鏡野▼伊野
2-1嶺北
▽準々決勝 一宮2-1伊香長2-0介良▼春野2-0野南▼宿毛2-0春野▼本川
2-0愛宕▼土佐2-0伊野
▽準決勝 宿毛2-0鏡野
1-1土佐
▽準々決勝 宿毛2-0鏡野
2-0香長▼朝倉2-1学芸
▽準決勝 宿毛2-0鏡野
1-1土佐
▽準々決勝 宿毛2-0鏡野
2-0香長▼朝倉2-1学芸

2021年(令和3年)7月18日

バドミントン ジュニア選手権県予選

バドミントンの全日本ジュニア選手権県予選が29日、県民体育館で行われ、ジュニアの部は男子単が小山武留(土佐高)、複は小山・谷優希ペア(同)が優勝した。女子は単が黒石愛奈(土佐女高)、複は黒石・利根美咲ペア(同)が制した。ジュニア新人は男子が坂本慶太(土佐中)、女子は西森夕華(朝倉中)が勝った。

ジュニア単複の1位とジュニア新人1、2位が全国大会(9月17-20日・大分県)の出場権を得た。

▽ジュニア女子シングルス
準々決勝 黒石(土佐女高)
2-0黒川(高知商高)▼井上(学芸高)2-0仙石(土佐女中)▼利根(土佐女高)
2-0伊藤(北陵中)▼田中(土佐高)2-0西山(追手前高)
▽準決勝 黒石2-0井上
中不戦勝 利根

▽同女子シングルス準々決勝
黒石2(21-14)0田中
▽同ダブルス準々決勝
五十田・山脇(土佐女高)2-0西山・河野(追手前高)▼大坪・沢本(高知商高)2-0門田・林(土佐高)▼黒石・利根(土佐女高)2-0竹本・野口(西・国際高)▼田中・坂本(土佐高)2-0黒川・岡本(高知商高)

▽準決勝 五十田2-0沢本
山脇2-0坂本
利根2-0坂本
▽決勝 黒石2(21-17)0五十田
根2(21-9)0山脇
▽ジュニア新人男子シングルス準々決勝 黒石(土佐女中)2-0橋村(たまひよ)▼三谷(朝倉中)2-0山中(宿毛中)▼松本(朝倉中)2-0小山(スカイブル)▼坂本(土佐中)2-0久保(嶺北中)

2021年(令和3年)7月30日

中学校地区総合体育大会

バドミントン

▽女子団体準決勝 土佐女2-0学芸▼春野2-1鏡野
▽決勝 土佐女2-1春野
矢野0-2浜口梨
松田0-2安岡
中島2-1浜口紗
石井2-1吉川
木山2-1中川
※団体は土佐一宮、城東、土佐山、介良、南海も県体出場
▽同シングルス準決勝 坂屋(大津)2-0中島(土佐女)▼田中(旭)2-0浜野(横浜)
▽決勝 坂屋2(21-17)16中島

2022年(令和4年)6月6日

小山(土佐)黒石(土佐女)2冠

バドミントンの県高校冬季大会最終日は9日、天王体育館で男女シングルスを行い、男子は小山(土佐)、女子は黒石(土佐)が優勝した。ともに前日のダブルスも制しており、2冠となった。

男子決勝は小山が沢田(中央)に、女子決勝は黒石が田中(土佐)にともに2-0で勝った。

小山・谷(土佐)が優勝

女子は黒石・利根(土佐女)

バドミントン

県高校冬季バドミントンの県高校冬季大会第1日は8日、天王体育館で男女ダブルスを行い、男子は小山(土佐)、女子は黒石(土佐)が優勝した。

男子決勝は小山・谷が西山・和田(中央)に2-1で競り勝ち、土佐女勢の決勝となった女子は黒石・利根が五十田・山脇にストレート勝ちした。

利黒	田門	山脇	利黒
根石	中田	脇田	根石
21	2	2	2
21	0	0	0
4	0	0	0
10	0	0	0
0	0	0	0
山脇	野川	中田	野川
脇田	野川	中田	野川

2022年(令和4年)1月9日

2022年(令和4年)1月10日

黒石(土佐女)が3位で全国へ

バドミントンの全国高校選抜大会四国予選最終日は22日、高松市総合体育館で男女の個人戦を行った。高知県勢では、女子シングルの黒石愛奈(土佐女)が3位に入り、全国大会(3月25、28日・栃木県)への出場権を獲得した。

県関係記録と決勝記録

▽男子シングルス1回戦
宮本(高松一)2-0西山(高知中央)▽小山(土佐)2-0西川(徳島科技)

▽準決勝
森川 2-0 小山
▽3位決定戦
宮本 2-0 小山

▽女子シングルス1回戦
水村(新田)2-0西山(高知中央)▽小山(土佐)2-0西川(徳島科技)

▽準決勝
水村 2-0 西山
▽3位決定戦
水村 2-0 西山

伊加	藤	2	1	高松商
石川	川	2	1	宮崎
黒石	田	2	0	中
宮崎	田	2	1	中
高松西	田	2	1	中
尾藤	田	2	1	尾藤
黒石	田	2	1	加藤
水村	兼	2	0	若畑
森川	兼	2	0	若畑
水村	兼	2	0	若畑
英明	小	2	0	山
福原	小	2	0	山
福原	小	2	0	山
兼出	小	2	0	山
兼出	小	2	0	山
兼出	小	2	0	山

2022年(令和4年)1月24日

土佐女6連覇

土佐男子は3連覇

バドミントン

(天王体育館)

女子団体6連覇を達成した土佐女。昨年のレギュラー15人のうち4人が残った大本命が全国切符をつかみ、笑顔が並ぶ中、決勝の第2復に出場した五十田・国広の3年生ペアの表情は厳しかった。

その決勝。相手はダブルス2組のうちの有力ペアを二人に当ててきた。昨年の秋季大会はストレートで下していたものの、最後の果てという独特の緊張感からか、接戦の末、第1ゲームを20-22で落としてしまった。

▽女子団体1回戦 学芸3-0山田▽岡豊3-0丸の内▽小津3-0土佐塾▽高知農3-1須崎総▽中央3-1安芸▽追手前3-0宿毛▽嶺北3-1室戸▽中村3-0清和▽2回戦 土佐女3-1学芸▽岡豊3-0東▽小津3-0春野▽西・国際3-0高知農▽高知商3-0中央▽南3-0追手前▽嶺北(不戦勝)伊野商▽土佐3-0中村

▽準々決勝 土佐女3-1岡豊▽西・国際3-0小津▽高知商3-0南▽土佐3-0嶺北

▽準決勝 土佐女3-0西・国際 土佐女3-1高知商

▽3位決定戦 西・国際 高知商3-1

▽決勝 土佐女3-1土佐

利黒 根石 2-0 戸野
五十田 0-2 田中
山脇 2-0 坂本
黒石 2-0 田中

(土佐女は2年連続45度目の優勝)

女子団体6連覇を達成した土佐女。昨年のレギュラー15人のうち4人が残った大本命が全国切符をつかみ、笑顔が並ぶ中、決勝の第2復に出場した五十田・国広の3年生ペアの表情は厳しかった。

その決勝。相手はダブルス2組のうちの有力ペアを二人に当ててきた。昨年の秋季大会はストレートで下していたものの、最後の果てという独特の緊張感からか、接戦の末、第1ゲームを20-22で落としてしまった。

第2ゲームも競り合いは続く。20-18でゲームポイントを握った時だった。相手のシャトルが浮いたところを国広が押し込んだが、ラインを越えた。最後の詰めが甘かった(国広)。そこから連続失点しストレートで敗れた。

主将でエースの黒石が第2単を制し優勝を決めたとはいえず、国広は「黒石に」回してはいけなかった。申し訳なかった」と猛反省。五十田も「速いスマッシュを決められ

なかった。インターハイへの課題です」と唇をかみしめた。

集大成となる四国インターハイに向け、黒石は「高知で勝っても四国や全国では勝てない。さらに意識を高めて全国水準の練習を重ねないと。ほろ苦さが残った果実を糧に、全国舞台で勝つて今度こそ、全員で晴れやかな笑顔を見せる。」

(竹内電二)

2022年(令和4年)5月22日



【女子団体準々決勝 土佐女-高松西】第1複を逆転で制した土佐女の黒石=右・山脇ペア
(高知県青少年C=山下正晃撮影)

土佐女3位

バドミントン

(高知県青少年C)
▽男子団体1回戦 新田3
0高知西・国際▼高松1-3
10徳島市立▼高松商3-1
徳島科技▼土佐3-0新居浜
工▼英明3-0徳島北▼高知
中央3-1東温▼高知商3-

0新居浜西▼徳島商3-1坂
出上
▽準々決勝 新田3-0高
松1▼高松商3-1土佐▼英
明3-0高知中央▼徳島商3
1-1高知商
▽準決勝
新田3-1高松商
徳島商3-2英明

▽決勝
新田3-1徳島商
(新田は2年連続13度目の優
勝)
▽女子団体1回戦 高松商
3-0城北▼新居浜西3-1
3-0新田3-0高知商▼城
土佐▼新田3-0高知商▼城
東3-1香川中央▼土佐女3
1-1松山南▼高松西3-0鳴
門▼英明3-0徳島商▼新居
浜東3-0高知西・国際

東3-2英明
▽準決勝
高松商3-1新
新居浜東3-1土佐女
近藤 2-1 永野
曾我部 2-1 国野
新居浜西▼新田3-1城東▼
新居浜西▼新田3-1城東▼
土佐女3-2高松西▼新居浜
優勝)
高松商3-1新居浜東
(高松商は2年連続14度目の
優勝)

急造ペアでも底力

○…土佐女は団体6連覇に貢献した主力の1人を体調不良で欠きながらも3位。四国のライバルたちと互角に渡り合い、選手たちは「チームの底上げにつながる」と手応えを口にした。

復は2組とも「ほぼぶっつけ本番(浜田監督)の急造ペア。連係に不安はあったが、高松西(香川2位)との準々決勝では、主将黒石と2年山脇の第1複が劣勢の第3ゲームを6-13から逆転。新居浜東(愛媛1位)との準決勝でも、第2複の黒石と五十田が四国ナンバーワンペアを追い詰める粘りを見せた。

相次ぐ激戦の後の単はさすがに疲れも出たが、「今できる精いっぱいだった」と選手たち。複3試合を戦った永野をはじめ、四国の舞台を踏んだ経験は全国総体で生き残るはず。黒石は「全国で勝つために、みんなでもう一段プレートの精度を上げたい」と力を込めた。
(横田幸成)

2022年(令和4年)6月19日

黒石(土佐女)単、複で2位

バドミントン

(高知県青少年C)

▽女子シングルス準々決勝
豊口(高松商) 不戦勝 伊藤(岡豊) ▼加藤(新居浜東) 2-0八田(城東) ▼笠井(高松商) 2-0金沢(城東) ▼黒石(土佐女) 2-0村上(英明)
▽準決勝
豊口 2-0 加藤
黒石 2-0 笠井

豊口 2(21-17) 0 黒石
▽同ダブルス準々決勝 藤田・笠井(高松商) 2-0 加藤・伊藤(新居浜東) ▼黒石・利根(土佐女) 2-0宮崎・西村(高松西) ▼金沢・林(城東) 2-0大森・尾藤(新田) ▼豊口・石川(高松商) 2-0松川・鈴木(新居浜西)
▽準決勝

黒石 2-0 笠井
利根 2-0 藤田
金沢 2-0 石川
▽決勝
林 不戦勝 利根
金沢 不戦勝 根石

|| 競技終了

2022年(令和4年)6月20日

山崎(高知SC)女子板制す

県勢5人日本選手権へ

飛び込み

関西選手権

飛び込みの関西選手権が9~11日、大阪プールで行われ、山崎佳運(高知SC)がシニア女子3級板飛び込みで優勝。日本選手権(9月・栃木県)の標準点を突破し、出場を決めた。このほか、県勢は2種目で計5人が同選手権の出場権を獲得した。

山崎は板飛び込みで294・25点をマーク。東京五輪高飛び込み代表の荒井祭里(JSS宝塚)を15・35点上回って制した。同種目ではこのほか、4位の山田瑛奈(高知西高)、13位の嶋崎菜乃(高知SC)、16位の柳川小夏(同)が標準点を突破した。14、15歳の部女子では嶋崎が3級板と高で1

位、柳川は高が2位で板が3位だった。

シニア男子高飛び込みでは、瓶子礼智(高知SC)が6位で標準点を突破。瓶子は14、15歳の部の高で1位、板は2位に入った。

小学生の結果は14日付「水曜スポーツ」面に掲載予定。

県関係記録

▽男子3級板飛び込み14、15歳 ②瓶子(高知SC) 452・35点

▽同3級板飛び込みシニア ②瓶子(高知SC) 274・40点

▽同高飛び込み14、15歳 ①瓶子礼智(高知SC) 421・95点

▽同高飛び込みシニア ⑥瓶子(高知SC) 329・50点

▽女子3級板飛び込み14、15歳 ①嶋崎菜乃(高知SC) 355・80点

▽同高飛び込み14、15歳 ①嶋崎菜乃(高知SC) 300・10点

▽同3級板飛び込みシニア ①山崎佳運(高知SC) 294

▽同3級板飛び込みシニア ①山崎佳運(高知西高) 263

▽同3級板飛び込みシニア ①山崎佳運(高知西高) 263

▽同3級板飛び込みシニア ①山崎佳運(高知西高) 263

▽同3級板飛び込みシニア ①山崎佳運(高知西高) 263

2021年(令和3年)7月13日

県中学総体

瓶子2種目標準突破

女子の嶋崎・柳川も

水泳

競泳

午前10時現在のプールコンディション 室温27・3度、水温27・4度

女子

▽100級自由形 ①松井遥南(土佐女) 1分3秒14

②高橋(付属) 1分4秒61

③明神(愛宕) 1分5秒14

▽400級自由形 ①青木咲璃(朝倉) 4分59秒55

②中嶋(窪川) 5分22秒64

③村中(土佐塾) 5分48秒12

▽100級背泳ぎ ①大坪奈央(土佐塾) 1分11秒61

②西之内(旭) 1分15秒75

③久保(伊野) 1分17秒02

▽100級平泳ぎ ①栗山陽菜(土佐女) 1分16秒45

②浜渦(城東) 1分17秒05

③中嶋(国際) 1分20秒85

▽100級バタフライ ①森田紗矢(旭) 1分6秒75

②中川(朝ヶ丘) 1分6秒76

③二宮(土佐) 1分8秒74

▽200級個人メドレー ①中川理都子(朝ヶ丘) 2分36秒

②河野(学芸) 2分43秒50

③山本(同) 3分0秒26

▽400級メドレーリレー ①土佐女(島田、栗山、松井、吉岡) 5分9秒83

②窪川5分

▽対校得点 ①土佐女42点

②窪川35点

③香長18点

(土佐女は10年連続27度目の優勝)

飛び込み

▽男子3級板飛び込み ①瓶子礼智(日高) 388・90点

▽同高飛び込み ①瓶子礼智(日高) 369・80点

▽女子3級板飛び込み ①嶋崎菜乃(土佐塾) 328・35点

②柳川(土佐女) 319・20点

▽同高飛び込み ①嶋崎菜乃(土佐塾) 311・20点

②柳川(土佐女) 271・45点

以上標準突破

2021年(令和3年)7月27日

中学校四国総合体育大会

水泳

香川県総合水泳プール

▽1位と県関係記録

女子

▽50級自由形 ①兵頭凜和(愛・城東) 27秒75

②森田(旭) 28秒56

③松井(土佐) 29秒12

▽100級自由形 ①西岡泉美(愛・松山東) 1分0秒00

②松井(土佐女) 1分2秒89

③高橋(高知大付) 1分5秒19

▽200級自由形 ①西岡泉美(愛・松山東) 2分9秒84

②明神(愛宕) 2分25秒18

③中(土佐塾) 2分42秒26

▽400級自由形 ①文田愛心(愛・桜井) 4分34秒29

②青木(窪川) 5分24秒58

③木(朝倉) 9分29秒43

▽100級背泳ぎ ①大高千代子(香・志度) 1分5秒30

②大坪(土佐塾) 1分13秒64

③西之内(旭) 1分13秒90

▽200級背泳ぎ ①大高千代子(香・志度) 2分21秒30

②大坪(土佐塾) 2分37秒73

③田村(窪川) 2分45秒90

▽100級平泳ぎ ①大下ひなた(香・牟礼) 1分15秒10

②栗山(土佐女) 1分16秒04

③浜渦(城東) 1分16秒57

▽200級平泳ぎ ①兵頭まい(愛・松山東) 2分41秒47

②栗山(土佐女) 2分45秒34

③浜渦(城東) 2分46秒68

▽100級バタフライ ①淀谷希(香・協和) 1分3秒98

②森田(旭) 1分6秒38

③朝ヶ丘(旭) 1分6秒85

▽200級バタフライ ①星田京美(愛・川東) 2分22秒39

②田真央(愛・中萩) 2分26秒

2021年(令和3年)8月2日

鳴崎（土佐塾）高飛び込み2位 柳川（土佐女）4位

全国中学大会

第1日

全国中学校体育大会（全中）は17日、千葉県などで開幕。高知県勢は女子高飛び込みで鳴崎菜乃（土佐塾）が283・10点

で2位、柳川小夏（土佐女）が259・45点で4位入賞を果たした。大会は関東ブロックで26日まで開催される。

飛び込み

（千葉県国際総合水泳場）
▽女子高飛び込み ①坂田母寧（茨城・土浦三）292・25点
②鳴崎菜乃（土佐塾）283・10点
③長岡（群馬・前橋）265・95点
④柳川小夏（土佐女）259・45点

2021年（令和3年）8月18日

高知新聞

飛び込み

「フジテレビ」

水泳の全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季大会飛び込み競技第2日は23日、大阪市の大阪プールで行われ、県選手は高知SC勢が出場し、女子高飛び込み14、15歳で鳴崎菜乃が314・55点で優勝した。柳川小夏も273・35点で3位に入った。

22日に行われた女子高飛び込み16、18歳で、山崎佳蓮が295・25点で2位、男子14、15歳板飛び

込みでは瓶子礼智が40・80点で3位となった。

県関係記録

▽男子3級板飛び込み14、15歳 ③瓶子40・80点
▽女子高飛び込み16、18歳 ②山崎295・25点 ⑦山田232・55点
▽同14、15歳 ①鳴崎菜乃314・55点 ③柳川273・35点
|| 所属はすべて高知SC

2021年（令和3年）8月24日

中学校地区総合体育大会

水泳

（9時現在のプールコンテイション）室温24・3度、水温26・5度

|| 1位記録

【女子】

▽50自1年 伊藤妃彩（学芸）29秒00 同2、3年 山中珠暉（土佐）28秒43 100自 森田紗矢（旭）1分4秒60
▽200自 浜渦愛莉（城東）2分14秒57 400自 宮崎真優（国際）5分12秒26 800自 西森理子（土佐女）13分42秒
74 50背1年 伊藤妃彩（学芸）34秒62 100背 西之内花音（旭）1分10秒49 50平1年 野田明愛（学芸）38秒03
100平 栗山陽菜（土佐女）1分14秒50 200平 栗山陽菜（土佐女）2分46秒69 50バタ1年 野田明愛（学芸）32秒36 100バタ 吉川和加（一宮）1分14秒73 200個×大坪奈央（土佐塾）2分33秒63
400リレー 土佐（松本、高松、依岡、山中）4分43秒61
400メドレリレー 土佐女（島田、栗山、松井、小笠原）4分57秒47
|| 総合 ①土佐女15点 ②土佐74点 ③学芸43点

2022年（令和4年）6月12日

県中学総体

競泳

（ろしおアリーナ）

【女子】

▽50自自由形 ①森田紗矢（旭）28秒43 ②松井（土佐女）28秒98 ③高橋（付属）29秒27
▽200自自由形 ①明神咲来（愛宕）2分24秒88 ②村中（土佐塾）2分40秒71 ③中越（窪川）2分50秒10
▽800自自由形 ①青木咲璃（朝倉）10分14秒75 ②橋田（春野）10分46秒04 ③中嶋（窪川）10分54秒55
▽200背泳ぎ ①大坪奈央（土佐塾）2分34秒88 ②田村（窪川）2分44秒96 ③西村（中村西）2分50秒16
▽200平泳ぎ ①浜渦愛莉（城東）2分45秒37 ②栗山（土佐女）2分48秒25 ③野中（香長）2分56秒47
▽400リレー ①土佐女（松井、吉岡、島田、栗山）4分42秒71 ②窪川4分50秒94 ③香長5分3秒59

2021年（令和3年）7月26日

女子200メ山本(土佐女)県新

飛び込み 瓶子、鳴崎2種目V

県高校体育大会

県高校体育大会の水泳最終日は12日、くろしおアリーナで競泳男女の16種目、春野プールで飛び込みを行った。

競泳の女子200個人メドレーは山本礼羅(土佐女)が2分19秒32の県新記録で優勝した。また、

女子400メドレーリレーは高知商が4分29秒80の大会新記録で制した。

優秀選手には男子が50歳自由形で県高校新記録を出した奥田友樹(土佐)、女子は山本が選ばれた。学校対抗は、男子の土佐、女子の高知商が頂点に立った。

飛び込みは、高飛び込みと板飛び込みに男女2人ずつが出場。男子は瓶子礼智(高知商)、女子は鳴崎菜乃(土佐塾)が共に2種目を制した。

水泳

◆競泳
(午前10時現在のプールコンディション)室温24・8度、水温26・3度

【女子】
▽100歳自由形 ①平ひなた(高知商) 1分0秒77②仁井(同) 1分1秒20③高橋(土佐女) 1分2秒03
▽400歳自由形 ①石本夕芽(土佐女) 4分47秒51②吉本(高知商) 4分55秒59③梅原(土佐女) 5分57秒39
▽100歳背泳ぎ ①山下奈津(高知商) 1分7秒54②山崎(中村) 1分14秒76③杉本(高知商) 1分18秒94
▽100歳平泳ぎ ①西ノ内春(高知商) 1分13秒00②森(中村) 1分17秒70③南(学

芸) 1分20秒41
▽100歳バタフライ ①岩瀬夕楓(高知商) 1分5秒29②二宮(土佐) 1分9秒91③藤本(高知) 1分10秒18
▽200歳個人メドレー ①山本礼羅(土佐女) 2分19秒32
②福田(中) 2分24秒89③河野(学芸) 2分50秒25
▽800歳リレー ①土佐女(石本、千田、梅原、滝本) 10分32秒85
▽400歳メドレーリレー ①高知商(山下、西ノ内、岩瀬、平) 4分29秒80②土佐女(乃、土佐塾) 4分59秒20
▽対校得点順位 ①高知商 142点②土佐女134点③中村102点(高知商が4年連続11度目の優勝)

◆飛び込み
▽男子3歳板飛び込み ①瓶子礼智(高知商) 462・80点②川村(土佐) 460・00点
▽同高飛び込み ①瓶子礼智(高知商) 440・55点②川村(土佐) 357・45点
▽女子3歳板飛び込み ①鳴崎菜乃(土佐塾) 350・55点②柳川(土佐女) 323・30点
▽同高飛び込み ①鳴崎菜乃(土佐塾) 335・05点②柳川(土佐女) 274・10点

圧勝に満足せず 山本

圧倒的な速さで女子200歳個人メドレーを制した山本(土佐女)。それもそのはず、2分19秒32は6年ぶりに県記録を更新する好記録。本人は「めっちゃうれいんですけど、満足はしなないです。過去の栄光にすがったら、落ちていってしまうので」。スティックに自身と向き合う。

前日の400歳個人メドレーでも県記録に0秒19まで肉薄したが、レース後の第一声は「記録を狙っていたので、めっちゃ悔しい。前半のバタフライと背泳ぎで飛ばし過ぎ、得意の平泳ぎで持たなかったという。反省を踏まえて臨んだ200歳で結果を残した。

メドレーを始めたのは小学3年。「全部の種目を泳げて、なんて楽しいんだろう」と。泳ぐたびにタイムを伸ばし、中学2年時には西日本の大会で3位に。この半年間で短水路の県記録などを何度も塗り替えている。場数とともに身についたのが、「過去の栄光にすがつたら」の言葉に表れる高い競技意識。それが今、強さの源にもなっている。

県体を振り返り、「得意の400歳で、記録が出せなかったのは悔しい。200歳の泳ぎを四国、インターハイにつなげて決勝で泳ぎたい」。ちなみに、400歳で出した4分51秒35は、昨年のインターハイで8位に相当するタイムである。

高知新聞



【女子200歳個人メドレー決勝】2分19秒32の県新記録で優勝した土佐女の山本礼羅(くろしおアリーナ=反田浩昭撮影)

2022年(令和4年)6月14日

県中学総体

ソフトテニス

(東部コート)

▽女子団体予選トーナメントA組1回戦 片島2-1潮江▽2回戦 東中筋2-1片島▽大方3-0旭▽代表決定戦 東中筋2-1大方

▽同B組1回戦 西部3-0清水丘▽宿毛東2-1朝ヶ丘▽代表決定戦 宿毛東2-0西部

▽同C組1回戦 土佐女2-1中村▽大用2-1朝倉▽代表決定戦 土佐女2-0大用

▽同D組1回戦 青柳2-1戸波▽2回戦 清水2-1春野▽野市2-1青柳▽代表決定戦 清水2-0野市

▽決勝リーグ

東中筋 2-1 土佐女
宿毛東 2-1 清水
土佐女 2-1 清水
東中筋 2-1 宿毛東
東中筋 2-1 清水
宿毛東 2-1 土佐女

【順位】①東中筋(小田、大塚、加用、山本、沢田) 3勝②宿毛東 2勝1敗③土佐女 1勝2敗④清水 3敗
(東中筋は2年ぶり9度目の優勝)

2021年(令和3年)7月23日

中学校地区総合体育大会

ソフトテニス

▽男子団体準決勝 横浜2-1付属▽城北2-0潮江▽決勝

横 浜 2-1 城 北
小 幡 2-4 山 本 虹 内
岡 根 脇 口 4-0 阿 宮 本 拓
中 河 越 添 4-3 山 本 蒼 倫
※青柳 城東、愛宕も県体出場

▽女子団体準決勝 春野2-0潮江▽土佐女2-1付属▽決勝

春 野 2-1 土 佐 女
岡 部 花 玲 0-4 西 北 内 原
横 川 4-2 西 菜 山 虫
山 本 愛 川 4-3 瀨 小 戸 松
※城北 朝倉、城西も県体出場

▽男子個人準決勝 田内・山本虹(城北) 4-1山本隆・野村(青柳)▽宮本蒼・山本倫(城北) 4-2小松・田島(付属)▽決勝

山 田 虹 内 4-1 宮 本 蒼 倫
山 本 虹 内 4-1 山 本 蒼 倫
西 内 (土佐女) 4-0堀・岡部(春野)▽菜虫・西山(土佐女) 4-0岡部玲・中岡(春野)▽決勝

西 北 内 原 4-1 西 菜 山 虫

2022年(令和4年)6月14日

中学校地区総合体育大会

新体操

▽女子個人総合 ①久野杏莉(土佐女) 30・85(クラブ) 16・95、リボン13・90②西原(高知) 28・35③北村(土佐女) 27・55
※久野杏莉は種目別もすべて1位

2022年(令和4年)6月14日

県中学総体

空手道

(県武道館)

▽女子団体組手1回戦 田野2-1土佐女▽土佐塾2-1土佐

▽2年準決勝 富田(清水丘) 5-0豊永(土佐女)▽福島(清水丘) 1-1浜田聖(明德) Ⅱ福島の先取勝ち

▽同団体形決勝リーグ ①土佐塾(市村、山下、沢村) 20・8点②清水丘 20・8点③明德 19・6点④土佐女 17・8点

※1、2位は決定戦による(土佐塾は初優勝)

▽同個人形1年決勝リーグ ①菅野(横浜) 21・2点②山下(土佐塾) 19・2点③蒲原(片島) 19・0点④溝渕(国際) 17・6点

▽2年決勝リーグ ①市村(土佐塾) 19・8点②柳川(土佐女) 18・0点③浜田聖(明德) 18・0点④浜田新(同) 17・0点

※2、3位は決定戦による

2021年(令和3年)7月24日

中学校地区総合体育大会

空手道

高	知	新	岡
菅野 4-0 吉村	横浜 2-1 豊永柳	相川 2-1 利岡	岡田 3-0 濱崎小
菅野 4-0 吉村	横浜 2-1 豊永柳	相川 2-1 利岡	岡田 3-0 濱崎小
菅野 4-0 吉村	横浜 2-1 豊永柳	相川 2-1 利岡	岡田 3-0 濱崎小

2022年(令和4年)6月6日

県中学総体

バレーボール

高	知	新	岡
高知2 25-25 13-11 0 香長	香長 2 25-22 25-21 1 清水	高知2 25-25 19-8 0 野市	女子準々決勝 高知2 0 中村西 野市2 0 中村 香長2 1 土佐女 清水2 0 香我美

2021年(令和3年)7月23日

中学校地区総合体育大会

バレーボール

高	知	新	岡
高知2 25-25 22-15 0 土佐女	横浜 2 25-25 15-21 0 城北	女子準決勝 土佐女2 0 春野 高知2 0 西部	男子準決勝 横浜2 1 西部 城北2 0 高知 青柳 土佐塾

2022年(令和4年)6月14日

県中学総体

陸上

高	知	新	岡
佐女 12秒82	津 13秒01 ③和智 鏡野 13	2年100m ①岡林沙季 ②横山 ③大石夕月 ④中山 ⑤土佐 ⑥岡村 ⑦橋上	女子 ①正岡璃子 ②弘瀬 ③朝ケ ④和野 ⑤鏡野 ⑥和野 ⑦和野 ⑧和野

2021年(令和3年)7月24日

県中学総体

テニス

高	知	新	岡
水佐 6-3 新谷・弘田(清)	川・平岡(土佐女) 岡林・竹内(学芸) 6-3 舛田・金子(高知南) 岩崎・平野(土佐) 6-2 山崎・中山(高知南) 門脇・押葉(土佐)	同ダブルス準々決勝 岸田・飯田(土佐塾) 6-2 久川・平岡(土佐女) 岡林・竹内(学芸) 6-3 舛田・金子(高知南) 岩崎・平野(土佐) 6-2 山崎・中山(高知南) 門脇・押葉(土佐)	同シングルス準々決勝 杉村(土佐女) 6-0 松本(中村) 田口(土佐) 6-1 森田(中村) 入田(高知) 6-2 馬場(土佐) 池内(土佐) 6-0 土居(横浜)

2021年(令和3年)7月25日

長尾(大津)杉村(土佐女)単制す

高	知	新	岡
飯岸 田田 6-2 押門	杉村 7-5 池内	池内 6-1 入田	杉村 6-2 田口
飯岸 田田 6-0 栗脇			

2021年(令和3年)7月26日

中学校地区総合体育大会

テニス

高	知	新	岡
松岡 6-1 船谷	田口 6-0 平岡	土佐 2-0 土佐女	女子団体準決勝 土佐3 0 高知 土佐女2 1 土佐

2022年(令和4年)6月6日

阿部(土佐女高)決勝ならず 団体記録 日本新に貢献

ライフル射撃 東アジアユース

日韓中、シンガポールの選手によるライフル射撃の東アジアユースエアガン大会(リモート開催)最終日は12日、東京・味の素ナショナルトレーニングセンターなどで行われた。女子10気アピストル立射60発に出場した阿部花論(土佐女高)は予選で52点の10位となり、8人で争う決勝には進めなかった。

阿部ら日本勢3人の団体合計は1666点となり、2018年の同大会で日本代表が記録したジュニア(20歳以下)団体の日本記録(1664点)を塗り替えた。

自身初の国際大会出場だった阿部は「思うような点数を出すことができず、あまりチームの力にもなれなかった」と反省。一方で「ジュニア団体の日本新記録はとて素晴らしい。試合中の気持ちの持っていていき方など、たくさん学びを持って帰ることができる。しっかり練習し、来年もこの大会に出場できるようにしたい」と収穫も強調していた。

(竹内竜一)

2021年(令和3年)12月14日

阿部(土佐女)BP準優勝 山崎(高知)7位

ライフル射撃 全国高校選抜

ライフル射撃の全国高校選抜大会が26日、三重県津市の県営ライフル射撃場で開幕し、高知県勢は女子ビームピストルに出場した阿部花論(土佐女)が準優勝を果たした。山崎一葉(高知)も7位入賞した。

決勝進出者を決める予選(60発)を、阿部は2位、山崎は3位で通過した。8人で争う決勝はまず10発を撃った後、2発ごとに成績下位の1人が脱落していく方式。阿部は最後の2人まで残り、2位に入った。

▽1位と県関係記録
▽女子ビームピストル予選(60発) ②阿部(土佐女) 52点 ③山崎(高知) 51点
上決勝進出
▽決勝 ①山元和(鹿児島実) 233・8点 ②阿部228・2点 ⑦山崎129・3点

阿部 一発ずつ丁寧に

ユース年代の日本代表にも選ばれた県勢期待の阿部(土佐女)が、初めて臨んだ高校生の全国大会で見事に準優勝。「あまり準備して臨めた感じではなかった」と不安を抱える中でも「メダルを獲得できて安心した」と喜びを口にした。

準備不足の理由は、直前までエアピストルの大会に参加していたから。今回のビームピストルとは引き金の感覚が違い、「慣れるほどの練習ができていなかった」という。ファイナルは最初の10発で出遅れたが、「一発、一発を丁寧に集中して撃とう」と意識した。神経を研ぎ澄ませて、巻き返しを図り、大きなミスなく最後まで残った。

中学時代に競い合った1学年上の選手で、今回8位入賞した武市愛理(仙台育英II城西中出)と久々に会ったのも刺激になったよう。負けたくない気持ちが「ライバルに成長した姿を見せた。」

「優勝できず」悔しさもあるけど、この状況の中で自分なりにできたかな。春から2年生。さらなる飛躍へ弾みとなりそうだ。

(仙頭達也)

2022年(令和4年)3月27日

阿部、山田2位

◆ライフル射撃 西日本選手権(24)26日・熊本県総合射撃場

▽女子エアピストル60発ファイナル ②阿部(土佐女高) 228・3点 ⑤山崎(高知高) 166・7点

まんが甲子園 33校本選へ



まんが甲子園予選応募作品を吟味する審査員
(高知市の県人権啓発センター)

土佐女子・高知商・高知工

第31回全国高等学校漫画選手権大会「まんが甲子園」の予選審査が14日、高知市内で行われ、7月末の本選に進む国内30校、海外3校が決定。県内勢は土佐女子、高知商業、高知工業の3校が予選突破した。

今年の応募は国内170校、台湾2校、2つの予選テーマ「海外9校の計179校」校の他、タイから初めのうち、69校が「8」、海外勢は韓国とシンガポール1校の応募があった。10校が「宇宙コミ」を

選び、無限ループをユニークに表現したり、ごみが増えた近未来を皮肉ったりする作品などを寄せた。
この日は、今年から審査委員長を務める日本漫画家協会理事の山根青鬼さんから審査員6人が1点ずつ吟味。「難しいテーマを自分のものにしたら学校が多かったけど、引き算を忘れてこちゃこちゃした作品もあった」などと印象を語った。
本選初出場校は8校。初挑戦のタイは借しくも予選敗退した。全応募作品は「まんが王国・土佐」ポータルサイトで閲覧できる。
本選は7月30、31の高知ちばさんセンターを会場に、3年ぶりの現地開催を目指している。
（徳造裕子）
本県以外の出場校は次の通り。
札幌西北海道、黒石（青森）、杜陵岩手、東北生活文化大学宮城、国際アート＆デザイン大学校高等課程（福島）、大田原東、栃木女子、さくら清修、矢板東以上栃木、吉井群馬、多摩大学付属聖ヶ丘東京、関東学院大和西北海道西以上神奈川、高朋（富山）、多治見サイオン専門学校高等課程、大府東、豊明以上愛知、京都文教、京都精華学園（以上京都）、米子鳥取、岡山芳泉（岡山）、武岡（広島）、福岡女子福岡（福岡）、有田工業（佐賀）、那覇工業（沖縄）、全南女子（韓国）、School of the Arts Singapore、Singapore Polytechnic（以上シンガポール）

2022年(令和4年)6月15日

下八川賞2位に門田さん

1位なし 3位楠瀬さん、川崎さん

高知音楽コン

県内在住、出身の新進音楽家が競う「下八川圭祐記念 第45回高知音楽コンクール」が3日、高知市本町4丁目の県民文化ホールで行われた。下八川賞1位は該当がなく、2位はバイオリンの門田智子さん(18)と土佐女子高校3年、3位には、クラリネットの楠瀬綾音さん(17)と高知商業高2年と、ピアノの川崎朱夏さん(19)と昭和音楽大学1年が選ばれた。

今年は管楽器、弦楽(24)がバイオリンを演 門田さん自身は「緊張、打楽器、声楽、ピアノ。審査員が各部門の張ってベストは尽くせアノの5部門に24人 講師を行った後、受賞 なかった。もう少し(うち高校生15人)が 者が発表された。い演奏ができたと思 出場。鍛錬の成果を情 シベリウス作曲「パ う」と少し悔しそな 表情。「高校時代に3位 感豊かに表現した。全 イオリン協奏曲「二短 以内に入るのが憧れ」 員の演奏終了後、昨年 調 O.P.47 第1楽 だったといい、今回は 2位の徳弘悟司さん 章」を演奏した2位の 1年生の時に演奏した 門田さんは「難易度が 高い大曲を自分自身の 思い入れのある曲で再 音楽としてうまく把握 挑戦。リベンジができ して伝えており、完成 たかな。これから周り 度が高かった」と評価 に恩返しできるように された。 頑張りたい」と朗らか



門田智子さん

門田さんは「難易度が高い大曲を自分自身の思い入れのある曲で再挑戦。リベンジができて伝えており、完成度が高かった」と評価された。

高知生が対象の高知音楽奨励賞は、マリリンパの久高さん(丸の内高3年)、声楽の森本真由さん(土佐女子高3年)、ピアノの杉村美紀さん(土佐高3年)に決まった。同コンクールは高岡郡佐川町出身の音楽家、故下八川氏が寄託した基金を基に1976年に創設。96年に現在の名称に変わり、県内音楽家の登竜門となっている。高知新聞厚生文化事業団、高知新聞社、RKC高知放送の主催。

(徳造裕子)

2021年(令和3年)11月4日

土佐女子3年（高知市）

優秀

柏井 美緒奈



子供の幸せを願う

黒柳徹子さんの自伝的物語「窓ぎわのトットちゃん」の記事が目にとまった。時間がなく、本物の電車を教室にするなど、ユニークな学校生活を描く「窓ぎわのトットちゃん」個性的な字びの在り方に心惹かれた。人の痛みが分かる、人には優しくする、体の不自由な人と仲良くするなど、刊行から四十年経った今でも習ったことを実行している黒柳さん。その背景にあるのは、温かく見守り続けてくれた先生と、トモエ学園の教育の在り方である。

一人の個性を大切にしたい小林先生の教育方針が「リトミック」である。リトミックの音楽教育は、身体や感覚などあらゆる能力を高めることができるので、子供の発達教育において欠かせないものだと考える。現在では、幼児教室や音楽教室などで活用されている。このような先生の教えのおかげで、個性豊かな人間性溢れるトットちゃんになったのではないだろうか。

「人との出会い」はこんなにも特別であるというところを改めて実感させられた。私自身、これから生きていく中で様々な人との出会いを大切にしていきたい。

この記事を読んで、「学校」に対するイメージが変わった。今までは、全員が同じ目標と課題を持ち、共に勉強する場所だと思っていたが、授業のカリキュラムの中に課外活動などを増やし、自由に伸び伸びと学習できる時間を作ること子供達の成長に繋がると思った。

また、読者を魅了する表紙を描いた、いわさきちひろさんは絵を通じて、「子どもは幸せでなければならぬ」と伝え続けている。いわさきさんの絵を見て、とても心が癒され温かい気持ちになった。

6月7日・高知新聞
「子どもの幸せ伝え40年」

（※本文より一部抜粋しています）

土佐女子3年（高知市）

優秀

安岡 さくら



考える力の重要性

まず、利点としてコロナの影響で学校が休校になっても、インターネットがあれば学校から貸与されたデジタル教科書などの端末を使い、オンライン授業を受けられる。その他、宿題もネットを通じて配布できることから、いつ休校になるか予測できない状態でも、デジタル教科書を使ったオンライン授業は、学ぶ立場として唯一の救いなのかもしれない。また、端末内には紙の教科書にはない動画や音声の再生など使った側をあきさせない工夫が施されており、楽しみながら学習ができる。

さらに、人工知能の発達によって各人のつまずきに合わせた最適な問題を選んでくれる。自分がどこに苦手意識を持っているか把握しなくても、AIが認識してくれることは努力の削減になると思う。

しかし、「デジタル教科書」には本当に利点しかないのか。私達は、日頃、スマホやタブレット、テレビなど多くの電子機器を利用し、ネット依存症など健康被害が増加傾向にある。加えて学校の授業でも電子機器の画面を見続けるとなると、私達の目は長時間酷使したままの状態だ。そうなる人間は視力悪化の可能性も十分あり得る。学力向上のために導入された物が、学力の前に健康に悪影響を与えるとなると元も子もないだろう。

学校は読み書きの他に、自分で計画を立て実行し、集中する能力を身につける場所だ。その点、デジタル教科書は機器内ですべて処理し、正解を導いてくれるが裏を返せば自分で考える思考力が身につかないということだ。学ぶ側も教える側もAIにすべて任せることで楽になるのかもしれない。しかし、苦勞したり失敗することで経験値として身につくことも

6月5日・高知新聞
「デジタル教科書 課題山積」

（※本文より一部抜粋しています）

多い。例えば、自分に合った勉強法も多くの勉強法を試すことで見つけ出していき、正解にならないうまくまで過程で、自分で考え実践していくことは己の内面や性格など自分を知る機会になり、自己形成も同時にできる。AIとは反対に遠回りをして正解を導き出すことになるが、その分多くの可能性や考えが広がっていく。

これから社会には多くの便利な物が増えるだろう。しかし本当に私達の生活に必要なものか、考えることをやめてはならない。

優秀

高知新聞

よりよい懸け橋に

つ っ の な な さ
土佐女子3年(高知市)津野七咲



私は中学1年生から3年間、演劇部に所属している。この記事で感想文を書くと思ったのは、このこともあってである。とはいえ、役者として公の舞台に立つのは、今年が初めてで、これまではずっと裏方だった。今年度、役者として舞台に出させていただくにあたり、演じるということも、自分が考えていたよりも、遥かに難しいことだったのだということを感じた私にとって、この記事はとても参考になった。

これは、俳優の松坂桃李さんのインタビュー記事なのですが、インタビューの中で、とくに、「作り手の思いやメッセージを、受け取ってくださる方にしっかり渡す心積もりがある。どの作品も、懸け橋を担えればいいなという思いでやらせてもらっています」という言葉が心に残った。

た。演劇と聞けば、誰もが真つ先に、華やかな舞台の上で演技をする役者を思い浮かべることだろうか。確かに、完成され、観客に披露するとき、その作品の形となるのは役者だ。しかし、演劇は役者だけではない。まず、脚本を書く脚本家がい、それから、音響、照明、舞台のセットを作る人、小道具を揃える人や、衣装を作る人、メイクを担当する人など、舞台を作り上げる際には、たくさん必要だ。松坂さんがこの言葉の中で、懸け橋というワードを使っているように、役者の役割は、その作品にこめられた思いやメッセージを、誠実に、丁寧に、受け取り手に届けることなのだと感じた。役者は主役というわけではないという点も、その作品には、たくさんの人々関わっている。どのようになればより多くの受け取り手に伝え、届けることができるのかと、工夫を続けている。その努力があつて、役者自身が作品の意図をくみ取って解釈し、届け

た。演劇と聞けば、誰もが真つ先に、華やかな舞台の上で演技をする役者を思い浮かべることだろうか。確かに、完成され、観客に披露するとき、その作品の形となるのは役者だ。しかし、演劇は役者だけではない。まず、脚本を書く脚本家がい、それから、音響、照明、舞台のセットを作る人、小道具を揃える人や、衣装を作る人、メイクを担当する人など、舞台を作り上げる際には、たくさん必要だ。松坂さんがこの言葉の中で、懸け橋というワードを使っているように、役者の役割は、その作品にこめられた思いやメッセージを、誠実に、丁寧に、受け取り手に届けることなのだと感じた。役者は主役というわけではないという点も、その作品には、たくさんの人々関わっている。どのようになればより多くの受け取り手に伝え、届けることができるのかと、工夫を続けている。その努力があつて、役者自身が作品の意図をくみ取って解釈し、届け

た。演劇と聞けば、誰もが真つ先に、華やかな舞台の上で演技をする役者を思い浮かべることだろうか。確かに、完成され、観客に披露するとき、その作品の形となるのは役者だ。しかし、演劇は役者だけではない。まず、脚本を書く脚本家がい、それから、音響、照明、舞台のセットを作る人、小道具を揃える人や、衣装を作る人、メイクを担当する人など、舞台を作り上げる際には、たくさん必要だ。松坂さんがこの言葉の中で、懸け橋というワードを使っているように、役者の役割は、その作品にこめられた思いやメッセージを、誠実に、丁寧に、受け取り手に届けることなのだと感じた。役者は主役というわけではないという点も、その作品には、たくさんの人々関わっている。どのようになればより多くの受け取り手に伝え、届けることができるのかと、工夫を続けている。その努力があつて、役者自身が作品の意図をくみ取って解釈し、届け

4月20日・高知新聞
「作り手の思いをしっかり渡す」

人生切り開いて 県内私立高卒業式



卒業証書を受け取る3年生(高知市追手筋2丁目の土佐女子高校=山下正晃撮影)

高知市の土佐女子学芸、土佐塾、中央の私立4高校で29日、県内トップを切って卒業式が行われた。新型コロナウイルス下で何かと制限を味わってきた計32人は、ほろ苦い思い出の分だけ、喜びもひとしお。笑顔と涙とともに学びやを巣立った。

高知市追手筋2丁目土佐女子高校では180人が晴れの日を迎えた。名前を呼ばれた卒業生は、凜とした表情で「はいっ」とマスク越しに返事を響かせ、各クラス代表5人が卒業証書を受け取った。

濱田美穂校長は、環境破壊や国際紛争などグローバルな課題に挑戦し、自らの価値観にとらわれず、広い視野で行動できるよう、日本という国を一度外から眺めてほしい」と言葉を送った。卒業生代表の池添美月さんは先生や保護者への感謝と合わせて、「土佐女子高の卒業生として誇りを持ってこれからの人生を切り開いていく」と声を詰まらせ答辞を述べた。

在校生らに拍手で見送られた卒業生は、教室で最後のホームルームへ。先生にサプライズでプレゼントを手渡したり、記念写真を撮ったり。友達と肩を抱き合い、名残惜しそうに母校を後にした。

ほかの私立高も順次卒業式を行い、県立高の多くは3月1日に行われる。(玉置明恵)

2022年(令和4年)1月30日

土佐女子中高創立120周年 生徒ら1300人節目祝う



土佐女子中・高校の創立120周年を祝った記念式典(高知市追手筋2丁目)

土佐女子中・高校の創立120周年記念式典が4日、高知市追手筋2丁目の同校で行われ、在校生や卒業生ら約1300人が節目の年を祝った。

同校は1902(明治35)年、私立土佐女学校として開校。今春、身染み。先人の熱意に思いをはせ、社会へ貢献できる女性の育成に一層努める」とあいさつした。

生徒代表の高校2年、池知真子さんは「時代は変わっても、明朗、聡明で愛情や気品を持った女性として自身を成長させようとする在學生一人一人の意志は変わらない。全在校生と力を合わせ、充実した日々を送りたい」と話した。

式典後に開かれた同校校友会の全国大会では、卒業生で東京薬科大学理事長の楠文代さん(73)が記念講演。「人を育てる姿勢は土佐女子中高で受けた教育がルーツ。学生と自分が一緒に育つというつもりで教育に取り組んでいる」と語った。

(加藤風花)

2022年(令和4年)6月5日

飛び込み宮本組5位

東京五輪の女子シンクロ板飛び込み決勝は25日、東京アクアティクスセンターで行われ、高知市出身の宮本葉月(20)と近大・土佐女子高出、高知SCと、榎本遼香(24)と栃木県スポーツ協会とのペアが5位入賞を果たした。

(13面)同調性の華咲かず、25面)頑張った! 県民ねぎらう

宮本は、東京大会に高知県出身選手としてただ一人出場。決勝には8組が出場し、5本の演技で争った。宮本組は制限選択飛びの1本目を7位でスタート。3本目以降の自由選択飛びで大崩れするペアも出る中、宮本組は3本目で3番目に高い点数を挙げた。4本目に5位に浮上すると、最終5本目で得点

を伸ばせなかったものの、合計269・40点とし順位を守った。

2人が同時に飛び込み、同調性も競うシンクロ種目は2000年シドニー大会から採用。日本勢が出場するのは東京大会が初。

夏季五輪で県出身選手の個人種目入賞は1956年メルボルン大会の競泳男子200メートルバタフライ銀メダルの石本

隆以来。(吉川博之) 誇りに思う

宮本葉月の話 五輪は小さい時からずっと目標にしてきた。やっどここまで来られたと、一つ一つの出来事に感動した。満足の結果を得ることはできなかったが、2人でこの舞台に立てたことはとても誇りに思う。

2021年(令和3年)7月26日

土佐女子中学高等学校 部活動一覧

【文化部】

コーラス
ピアノ・エレクトーン
吹奏楽
邦楽
フォークソング
美術
書道
ESS
華道
茶道
家庭科
社会
放送
生物
化学
JRC
演劇
囲碁
マンガサークル

【運動部】

バスケットボール
バレーボール
ソフトテニス
卓球
バドミントン
陸上
水泳
弓道

剣道
体操・新体操
ダンス
バトン
テニス

【同好会・研究会】

空手道同好会
紅茶研究会



土佐女子は 2022 年、創立 120 年を迎えました